BLACK+ DECKER

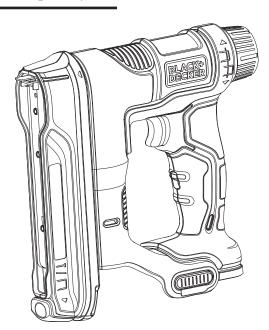
GoPak#System.

取扱説明書

GoPak タッカー・ネイラー

BDCT12UB

- ▶安全上のご注意 P2~P5
- ▶使う前に P6~P9
- ▶充電池の取り付け/ 取り外し方 P9~P10
- ▶使い方 P11~P17
- ▶その他の情報 P18
- **▶仕様/能力** P19
- ▶保証書 P23~P24



本体のみ。充電池・USBケーブル・ ACアダプタは含まれておりません。

このたびはブラック・アンド・デッカー「GoPak タッカー・ネイラー」を お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

で使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくで使用 ください。

この取扱説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。 お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

この取扱説明書は、電動工具をお取扱いの際に、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただく ことを、説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

 $\hat{\mathbb{N}}$

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

↑ 注意

この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」 内容です。

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

$\hat{\mathbb{N}}$

警告

・充電池の充電は、専用のACアダプタ/USBケーブル を使う。

指定機器以外の充電はしないでください。 破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

・充電池/ACアダプタ/USBケーブルを分解、加工、火中投入などをしない。

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。 充電器は修理できる構造とはなっていません。 漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は 石鹸と水で直ちに洗い落としてください。 電池液が目に入った場合は、きれいな水で充分に洗い 流してから、医師の診察を受けてください。

・周囲温度が10℃以下、あるいは40℃以上のときは 充電しない。

破裂や火災の恐れがあります。

・雨中や湿った場所など本体内部に水が入りやすい環 境では使用しない。

湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故 につながる恐れがあります。

・ポケットの中など、体に触れた状態で機器へ給電し ない。

発熱し、やけどの原因になります。

・危険物のまわりでは決して作業しない。

スイッチのオン・オフ時にスパーク(火花)が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。

・スイッチがオンできない、あるいはオフができない 場合は、使用を中止する。

スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。

・指定の付属品、アタッチメントを使用する。

使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用 は危険をともなうことがあります。

・充電池の端子間を絶対にショートさせない。

充電池の端子部に金属物を接触させないでください。 発煙、発火、破裂等の恐れがあります。

・充電池/本体を高温になるところに放置しない。

液漏れ・発熱・発火・破裂・変形につながります。

・ACアダプタは交流100ボルト以外では使わない。

昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機を使用したりすることはしないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

・ACアダプタ/USBケーブル/充電池が損傷した場合には使用しない。

火災・感電につながります。

・専用の充電池でのみ本製品を使う。

他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。

・入力と出力を逆に接続しない。

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

・保護メガネや他の保護器具を使用する。

飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず 着用してください。切り粉が多量に出る作業では、防 塵マスクを併用してください。作業環境によっては耳 栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

・加工材はしっかりと固定する。

クランプや万力などで加工材を固定してください。電 動工具は両手で保持し、安全な作業を行ってください。

・次の場合は、必ずスイッチを切り、充電池を本体から外す。

- ①お手入れや点検。
- ②刃物やビット類の交換。
- ③その他危険が予想される場合。

・常に注意して作業を行う。

電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して作業をしないでください。作業時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。

・ご使用の前に、損傷部品を点検する。

本体やその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されることを確認してください。

・お子様を近づけない。

作業場所は作業者以外、立ち入り禁止にしてください。

・感電に注意する。

電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないでください。(例:パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)。

・不意な始動は避ける。

本体を充電池を差し込む前に必ずスイッチがオフの状態であることを確認してください。スイッチに指を掛けて運ばないでください。スイッチが入っていると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

・集じん装置に接続できる場合は接続する。

粉じんによる人体への影響を軽減できます。

・電動工具の修理は、専門家に依頼する。

この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

修理は、必ずお買い求めの販売店、または弊社サービスセンターにご依頼ください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

$\hat{\Lambda}$

注意

・お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため 必ず充電池を本体から外す。

感電や火災の恐れがあります。

・ACアダプタは屋内のみで使用する。

ACアダプタを濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。

特に水まわりでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。感電の恐れがあります。

・明るく清潔で、安全な場所で作業する。

散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。

・適切な服装で作業する。

そで口の開いた服装や宝石類を身に付けて作業しないでください。

電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。 屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を 着用することをお勧めします。

必要に応じて、作業帽をかぶってください。

・電動工具を駆動させたまま、台や床などに放置しない。けがの原因になります。

・使用していない電動工具は、安全な場所に保管する。

お子様や初心者の方の手が届かないところに保管して ください。電動工具はお子様や初心者の方には大変危 険なものです。

また、電動工具は高温多湿ではなく、涼しく安全な場所で保管してください。

・電動工具に無理な力をかけない。

電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご 使用いただくのが基本です。

また、適した速度で使用することによって、仕上がり の良い安全な作業ができます。

・ACアダプタ/USBケーブルを乱暴に扱わない。

①ケーブルの部分をもって充電池をぶら下げて持ち運んだり、接続を外す際にケーブルを引っぱったりしないでください。

②USBケーブルを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。感電やショート等の恐れがあります。

万一、誤ってケーブルが損傷した場合は、その箇所に 手を触れず直ちに電源プラグをコンセントから抜いて ください。キズついたケーブルは火災を引き起こす危 険性があります。 ・調節用キー、レンチなどは、使用時以外は必ず取り 外す。

スイッチオンする前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認してください。

・作業にあった電動工具を使用する。

指定された用途以外には、ご使用にならないでください。

・無理な姿勢で作業をしない。

常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。

無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

・使用後は常に手入れをする。

ハンドル部や握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



・電動工具・充電池・ACアダプタ・USBケーブルの ラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

 ✓
 電圧

 ==
 直流

 □
 二重絶縁

 Λ
 ∴

no ・・・・・・・・・・・無負荷状態での回転数

○○○○min⁻¹ · · · · · · · · 1分毎の回転数

・電動工具と刃物類は、こまめに手入れをする。 安全で効率のよい作業をするために、刃物類はよく手 入れをし、シャープな状態を保ってください。

誤ってUSBケーブルを被損した場合は、その箇所に手を触れず直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。傷ついたケーブルは火災を引き起こす危険性があります。

危険を回避するため、速やかにブラック&デッカーで修理してください。

↑ 警告 タッカー・ネイラーに関する安全上の追加事項

・使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止し、お買い求めの販売店、もしくは、ブラック・アンド・デッカーで点検・修理を依頼する。

そのまま使用を続けると、けがの原因になります。

・誤って落としたり、ぶつけたときは、アタッチメントや付属品、本機などに破損や亀裂、変形がないこと をよく確認する。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

常に注意して作業を行う。

ステープル/ネイルが装てんされていることを意識して 作業してください。

誤って発射した場合、けがの原因になります。

・作業する箇所に、内部の電気配線や配管がないか確 認する。

感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行ってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行ってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。

・射出口を人に向けない。手や顔などを射出口付近に 近づけない。

誤って発射した場合、けがの原因になります。

・人の近くで作業をしない。また、作業中は人を近づ けないようにする。

打ち損じたステープル/ネイルにあたり、けがの原因に なります。

・使用中は本機に顔などを近づけない。

木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、け がの原因になります。

・壁などの両側から同時に作業しない。加工材の裏側 に手を置かない。

ステープル/ネイルが突き抜け、けがの原因になります。

加工材の厚さに気を付ける。

ステープル/ネイルが突き抜け、けがの原因になります。

・トリガースイッチに指をかけた状態で運んだり、手 渡しをしない。

誤って発射した場合、けがの原因になります。

・トリガースイッチに指をかけた状態で充電池を取り 付けない。

誤って発射した場合、けがの原因になります。

•電気配線を固定するために本機を使用しない。 感電や発火の原因になります。 • **屋根などで作業する場合は、前進しながら打つ。** 後退しながらの作業は、足を踏む外すおそれがありま

・保護メガネや他の保護器具を使用する。

打ち損じたステープル/ネイルから目を守るために、保護メガネを必ず着用してください。

また、騒音からの保護のために耳栓や、作業環境に応じてヘルメットなども着用してください。

- ・次の場合は、充電池を本体から外す。
- ①使用をしてない、あるいは点検する場合。
- ②ステープル/ネイルを装てん、あるいは取り出す場合。
- ③ステープル/ネイルが本体に詰まった場合。
- ④本体を運ぶ場合。
- ⑤打ち込み深さなどの設定を変える場合。
- ・無理な姿勢で作業しない。

無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

・加工材はしっかりと固定する。

クランプや万力などで加工材を固定してください。

・引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しない。 ステープル/ネイルを打ち込む際に火花が発生すると、 引火するおそれがあります。

・詰まったステープル/ネイルを取り除くときは注意す る。

必ず電源を切り、充電池を本体から外してから、詰まったステープル/ネイルを取り除いてください。

・トリガースイッチ、ロックスイッチ、コンタクトレバー などを改造、あるいは固定しない。

ロックスイッチやコンタクトレバーを無効化するなど の改造をしないでください。

あるいは、トリガースイッチ、ロックスイッチ、コン タクトレバーなどをテープで固定しないでください。

・使用の前にトリガースイッチ、ロックスイッチ、コンタクトレバーなどが正しく動作することを確認する。

安全装置が正しく動作しないと、思わぬ事故を引き起 こす原因となります。

注意 タッカー・ネイラーに関する安全上の追加事項

・指定していない用途、または本機の能力以上の作業 には使用しない。

空中に向かってステープル/ネイルを発射したり、硬い加工材(コンクリート、石、過度に硬い木材など)には使用しないでください。

事故や故障の原因となります。

・指定以外のステープル/ネイルは使用しない。

指定外のステープル/ネイルを使用すると、故障の原因となります。

・ステープル/ネイルは指示に従って装てんする。

誤った装てんを行った場合、事故や故障の原因となり ます。

・射出口は加工材に確実に当てる。加工材の端では使 用しない。

ステープル/ネイルや割れた加工材がはね返り、事故の 原因となります。 ・射出口を金属などの硬いものに当てない。

打ち込んだステーブル/ネイルの上から、再度打ち込むことをしないでください。

事故の原因となります。

・天井板や壁板の貼り付けには使用しない。

事故の原因となります。

・作業中は本機をしっかり握る。

本機の反動でけがの原因になります。

・高所作業の時は、下に人がいないことを確認する。

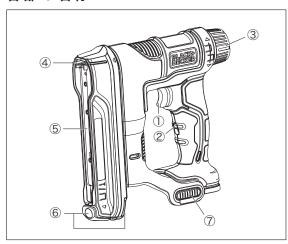
加工材や本機を落としたとき、事故の原因になります。

・明るく清潔で、安全な場所で作業する。

散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。

使う前に

製品をご確認ください 各部の名称



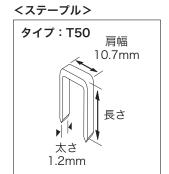
- ①トリガースイッチ
- ②ロックスイッチ
- ③打ち込み深さ調節ダイヤル
- ④コンタクトレバー
- ⑤マガジン
- ⑥マガジンロック
- ⑦バッテリーリリースボタン

部 品 名	入り数
タッカー・ネイラー本体	1
12mm ステープル 12mm ネイル	各 100

*BDCT12UBには充電池・USBケーブル・ACアダプタは付属しません。

別途、GoPak充電池(品番:BDCB12U)、またはGoPak充電池/ACアダプタセット(品番:BDCB12UC)をご購入ください。あるいは、GoPakシリーズに付属している充電池をご使用ください。

<ステープルとネイルについて>BDCT12UBには必ず専用のステープル/ネイルを使用してください。別売品は19ページ参照。



<ネイル>

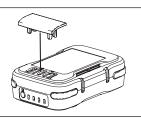


6

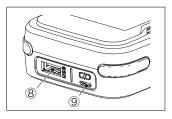
充電池と充電の手順 (製品には充電池・USBケーブル・ACアダプタは付属しません。)

注意

破損やけがのおそれがあるため、充電池を電動工具に使用していないときは、必ず充電池に保護キャップを取り付けてください。 (充電池の保管や持ち運び、充電を行うときなど。)

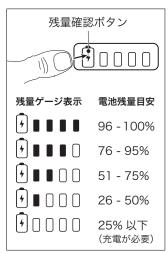


◆充電池のUSBポートについて



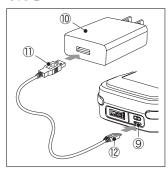
- ・microUSB-B入力ポート(⑨)は充電池を充電する際に使用します。
- ・USB-A出力ポート(®)は充電池を使用して、お手持ちのモバイル機器への給電を行う際に使用します。(スマートフォン、タブレット、音楽プレーヤーなど)

◆充電池の残量ゲージについて



- ・充電池は電池の残量目安を確認できる機能が搭載しています。
- ・充電池の残量確認ボタンを「カチッ」と音がするまでしっかり 押すことで約4秒間、残量ゲージが表示されます。 残量ゲージの表示に基づいて、電池残量の目安が確認できます。 (左の図参照)

◆充電のしかた



- (1) 充電池のmicroUSB-B入力ポート(⑨) に、USBケーブルの microUSB-Bプラグ(⑫) を接続してください。
 - その後、USBケーブルのUSB-Aプラグ(⑪)をACアダプタ(⑩)に接続してください。
 - この時、USBプラグの向きに注意して接続を行ってください。
- (2) ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続することで、充電が開始されます。

充電中は残量ゲージが点滅してお知らせします。充電が完了 したら、残量ゲージの点滅は止まり、点灯します。

(※充電が完了した状態で放置すると、残量ゲージは消灯します。)

◆充電時間

- ・空の充電池は約120分でフル充電されます。工場からの出荷時点では、充電池は十分に充電されていませんので、ご使用の前に充電を十分にしてください。
- ・長期間ご使用にならない場合、充電池は充電してから保管することをおすすめします。
- ・充電池の劣化を避けるため、空の充電池は1週間以内に充電を行ってください。

◆充電池温度探知機能(充電池の温度トラブル)

使用直後の高温な充電池や、低温な場所で保管されていた充電池の充電を行おうとした場合、充電は行われません。

適正温度範囲以外での充電による充電池の損傷を防止するためであり、充電池の温度が適正範囲内になれば、自動的に充電を開始します。

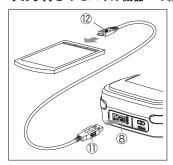
◆充電がうまく行われないときは

- (1) 電源コンセントに電灯などの他の電気器具を接続して、電流が流れているかを調べる。
- (2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。
- (3) 周囲温度が+10℃以上、および+40℃以下の環境下で充電を行ったか確かめる。
- (4) 充電池の温度が+45°C以下か確かめる。
- (5) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げの際のレシートなどと一緒にご持参の上、ご相談ください。
 - ・充電中、ACアダプタ/USBケーブル/充電池は触れると暖かく感じます。これは正常な状態であって、問題はありません。
 - ・作業中に本製品の作業量がおちてきた場合、あるいは本製品が自動停止した場合、充電池を再充電してください。充電池の力が弱くなった状態で作業を続けないでください。

・連続して充電する際は、ACアダプタ/USBケーブル/充電池が著しく熱くなっていないか確認してください。著しく熱く感じられる場合は、温度が下がったことを確認した上でご使用ください。

注意

◆お手持ちのモバイル機器への給電のしかた



- (1) 充電池のUSB-A出力ポート(8) に、USBケーブルの USB-Aプラグ(1) を接続してください。
- (2) その後、USBケーブルのmicroUSB-Bプラグ(⑫) を給電したいモバイル機器に接続してください。 この時、USBプラグの向きに注意して接続を行ってください。 接続がされるとモバイル機器への給電が開始されます。
- (3) 給電を終了するには、USBケーブルの接続を外してください。

注意

・お手持ちのモバイル機器がUSBケーブル経由での充電に対応しているか、ご確認の上、使用してください。

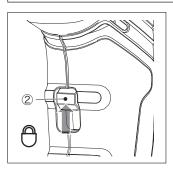
・万一、本製品使用による、接続したモバイル機器のメモリー内容の破損・消去、機器の不具合・故障が生じた場合にも、当社では損害等の一切の責任は負いかねます。

充電池の取り付け/取り外し方

◆充電池の取り付け方



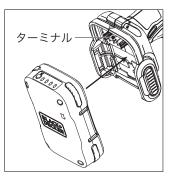
ブラック・アンド・デッカー製充電池は充電されていない状態で出荷されます。 最初のご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。



(1) 充電池を本製品に取り付ける前に、必ずロックスイッチ(②)をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチがロックされていることを確認してください。



(2) 充電池(⑭) に付属している保護キャップ(⑬) を取り外してください。

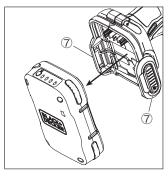


(3) 本製品の握り部分の下にあるターミナルを充電池上部にある スリットに合わせて差し込んでください。「カチッ」としっか りはまるまで押し込んでください。

◆充電池の取り外し方



(1) 充電池を本製品に取り付ける前に、必ずロックスイッチ(②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチがロックされていることを確認してください。



(2) 本製品の握り部分両側にあるバッテリーリリースボタン(⑦) を両側から押しながら、充電池を引き抜いてください。

◆再充電



作業中に本製品の作業量がおちてきた場合、もしくは充電池の残量ゲージで空になっている場合は、充電池を再充電してください。 充電池の充電方法は8ページを参照してください。

<u>(1</u>

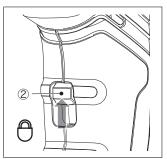
充電池を交換する際、本体が著しく熱く なっていないかご確認ください。著しく 熱く感じられる場合は本体の使用を止め、 温度が下がったことを確認してください。

使い方

◆ステープル/ネイルの装てん・取り外し方法

↑ 警告

- ・人の近くでステープル/ネイルの装てん・取り外し作業をしないでください。また、作業中はトリガースイッチに触れないようにしてください。
- ・指定以外のステープル/ネイルは使用しないでください。
- ・装てん・取り外し作業は必ずトリガースイッチをロックし、充電池を取り 外した状態で行ってください。

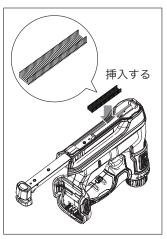


1. ステープル/ネイルの装てん方法

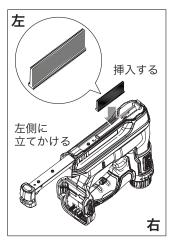
(1) ステープル/ネイルを装てんする際は、必ずロックスイッチ (②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッ チがロックされていることを確認し、充電池を取り外した状態で行ってください。



(2) 左の図のようにマガジンが上に来るように置き、マガジンロック(⑥) をつまみ上げながら、マガジン(⑤) を矢印の方向に引き出してください。



- (3) ステープルを装てんする場合: 左の図のようにステープルの先端を上にして、挿入してくだ さい。
 - ※ステープルとネイルは同時には装てんできません。 一回に装てんできるステープルの数は80本です。 装てんするステープルが多すぎる場合は、途中で折って装 てんしてください。





左の図のようにネイルの先端を上にして、挿入してください。 ネイルは本製品を少し傾け、マガジン内部の左側の側面に立 てかけるように挿入してください。

※ステープルとネイルは同時には装てんできません。 一回に装てんできるネイルの数は80本です。 装てんするネイルが多すぎる場合は、途中で折って装てん してください。

(5) マガジンを矢印の方向に「カチッ」と音がなるまでしっかりと押し込んでください。 マガジンが確実に閉じられているか確認をしてください。



2. ステープル/ネイルの取り外し方法

(1) ステープル/ネイルを取り外す際は、必ずロックスイッチ(②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチがロックされていることを確認し、充電池を取り外した状態で行ってください。

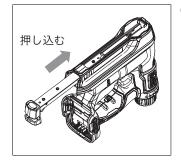


(2) 左の図のようにマガジンが上に来るように置き、マガジンロック(⑥) をつまみ上げながら、マガジン(⑤) を矢印の方向に引き出してください。

マガジン内部にあるステープル/ネイルを取り出してください。

この時、マガジン内部にステープル/ネイルが残っていないか確実に確認を行ってください。





(3) マガジンを矢印の方向に「カチッ」と音がなるまでしっかり と押し込んでください。

マガジンが確実に閉じられているか確認をしてください。

/ 注意

- ・使用中にステープル/ネイルが詰まった場合は、ただちに使用を停止し、 上記の「ステープル/ネイルの取り外し方法」の手順に従って、詰まっ たステープル/ネイルを取り出してください。
- ・曲がったステープル/ネイルがマガジン内部に残っていないか確実に確 認をしてください。内部で引っかかっている場合は、ペンチなどで取り 除いてください。

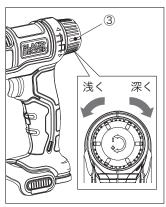
◆打ち込み深さ調節

! 警告

- ・打ち込み深さの調節は必ずトリガースイッチをロックし、充電池を取り 外した状態で行ってください。
- ・また、調節中はトリガースイッチに触れないようにしてください。



(1) 打ち込みの深さを調節する際は、必ずロックスイッチ(②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチが ロックされていることを確認し、充電池を取り外した状態で 行ってください。



(2) 本製品は打ち込みの深さを調節機能が搭載しております。 ステープル/ネイルの長さ、打ち込む加工材の硬さに応じて 調節してください。

打ち込み深さ調節ダイヤル(③)を一方向(反時計回り)に 回すと、打ち込みが浅くなります。

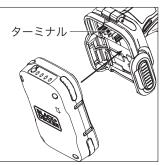
打ち込み深さ調節ダイヤルを+方向(時計回り)に回すと、 打ち込みが深くなります。

試し打ちなどを行い、希望する打ち込みの深さに合わせて使 用してください。

◆製品を使用する

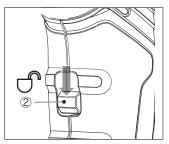
警告

- ・使用の際は、打ち損じたステープル/ネイルから目を守るために、保護メガネや他の保護器具を必ず着用してください。
- ・ステープル/ネイルを発射するとき以外は、トリガースイッチに指をかけないでください。
- ・トリガースイッチに指をかけた状態で、本製品を運んだりしないでください。



1. 製品を準備する

- (1) 使用するステープル/ネイルを装てんしてください。(11 \sim 12ページ参照)
- (2) 充電池を本製品に取り付けてください。(9ページ参照)



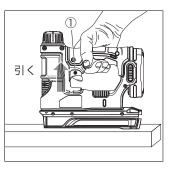
(3) ロックスイッチ(②) を充電池の方向に引き下げ、トリガースイッチのロックを解除してください。

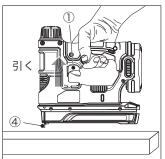


ステープル/ネイルを発射するのは(A)と(B)の2種類の方法があります。長いステープル/ネイルを使用する際や、作業箇所をしっかり確認した上で打ち込みたい場合は(A)の方法で使用してください。

2. ステープル/ネイルを発射する(A)

- (1) コンタクトレバー(④)を加工材の打ちたい場所に垂直に、しっかりと奥まで押し込んでください。
- (2) コンタクトレバーがしっかり押し込まれているのを確認したのち、トリガースイッチ(①) を引いてください。
- (3) バチンと音がして、ステープル/ネイルが発射されます。
- (4) ステープル/ネイルが発射されたら、トリガースイッチから指を放し、加工材からコンタクトレバーを放してください。
- (5) 続けて作業を行う場合は、(1)~(4)を再度行ってください。

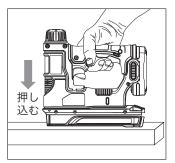






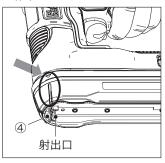
3. ステープル/ネイルを発射する(B)

- (1) トリガースイッチ(①) を引いてください。
- (2) トリガースイッチを引いたまま、コンタクトレバー(④)を 加工材の打ちたい場所に垂直に押し込んでください。
- (3) バチンと音がして、ステープル/ネイルが発射されます。
- (4) ステープル/ネイルが発射されたら、トリガースイッチから 指を放し、加工材からコンタクトレバーを放してください。



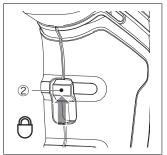
(5) 続けて作業を行う場合は、(1) ~ (4) を再度行ってください。

く作業のヒント>



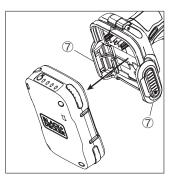
ステープル/ネイルの射出口はコンタクトレバー(4)の近くに あります。作業する際は本体側面にある▽マークを打ち込む箇所 の目安としてください。

本製品は安全のため、コンタクトレバーが加工材にしっかりと押 し込まれ、トリガースイッチを引かない限り、ステープル/ネイ ルは発射されません。

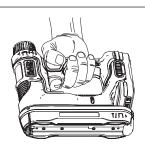


4. 作業を終了する

(1) 作業が終了しましたら、必ずロックスイッチ(②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチをロックしてください。



(2) その後、バッテリーリリースボタン(⑦)を両側から押しながら充電池を本製品から取り外し(10ページ参照)、マガジン内部に残っているステープル/ネイルを取り外してください。(12ページ参照)

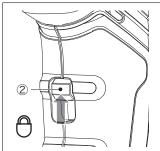


注意

事故やけがのおそれがあるため、使用する際は左の図のよう にしっかりと握ってください。

◆モーターをリセットする

もし作業中にステープル/ネイルが発射できなくなった場合、以下の手順に従ってモーターのリセットを行ってください。



押L 込む

- (1) ロックスイッチ(②) をトリガースイッチ方向に引き上げ、トリガースイッチがロックされていることを確認し、充電池を取り外す。その後、再度充電池を取り付けてください。
- (2) トリガースイッチには触れず、コンタクトレバー(④) を木 材などに3秒ほど押し込んでください。
- (3) 本製品よりモーターの音が聞こえ、モーターリセットが行われます。
- (4) 通常の手順に従って、作業を再開してください。

その他の情報

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

🏠 充電池と環境



Li-lon リチウム電池は リサイクルへ 本製品に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

- (1) 充電池は動かなくなるまで使いきってください(充電池には寿命があります)。
- (2) 動かなくなった充電池は、充電式電池リサイクル協力店またはブラック・アンド・デッカーにお持ち込みください。(充電式電池リサイクル協力店は JBRCのホームページより検索ください。

https://www.jbrc.com/recycle/kensaku.html)



使用済み充電池のお取扱の際は、下記注意事項をお守りください。

- ・プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ・充電池を分解しないでください。

アフターサービスについて

本機の修理、調整はブラック・アンド・デッカーにて認定技術者が純正部品を使用して行わなければなりません。必ずお買い上げの販売店、または当社ホームページ「お問い合わせ」内の「メールでのお問い合わせ」よりご依頼ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

アクセサリー

本製品の付属品は各販売店もしくは、ブラック・アンド・デッカー オンラインショップにて販売しております。また、付属品についてのお問い合わせは、ブラック・アンド・デッカーまでご連絡ください。(供給していない付属品もございます。あらかじめご了承ください。)

仕 様

▽本体	
定格電圧	DC 10.8V
ステープル/ネイルタイプ	専用ステープル/ネイル
対応ステープル長	6mm - 14mm
対応ネイル長	12mm - 15mm
最大マガジン容量	ステープル:80本 / ネイル:80本
最大能力目安	柔らかい木材:15mm / 硬い木材:10mm
本体質量(充電池含む)	長さ225mm×幅82mm×高さ215mm
外形寸法 (充電池含む)	約1.75kg
本体質量(充電池除く)	長さ220mm×幅82mm×高さ215mm
外形寸法(充電池除く)	約1.5kg

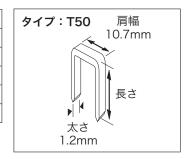
▽付属品

- 12mmステープル×100本
- 12mmネイル×100本
- ※製品仕様及び内容は改良のため予告なく変更することがあります。
- ※最大能力は作業環境により異なります。目安として参照ください。

<別売品>

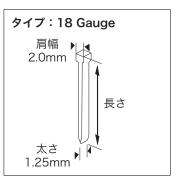
ステープル (肩幅10.7mm / 太さ1.2mm)

品番	長さ	入り数
BDTRA704T	6mm	1,000本
BDTRA705T	8mm	1,000本
BDTRA706T	10mm	1,000本
BDTRA708T	12mm	1,000本
BDTRA709T	14mm	1,000本



ネイル (肩幅2.0mm / 太さ1.25mm)

品番	長さ	入り数
BDBN050S	12mm	1,000本
BDBN625S	15mm	1,000本



<輸入販売元>

ポップリベット・ファスナー株式会社

ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22

山種池袋ビル4F

Tel: 03 (5979) 5677 Fax: 03 (5979) 5788

BLACK+ DECKER www.blackanddecker-japan.com



facebookサイト

www.facebook.com/BlackAndDecker.JAPAN

MEMO
21

GoPak_BDCT12UB_タッカー.indd 21

18.4.16 6:57:57 PM

MEMO
22

GoPak_BDCT12UB_タッカー.indd 22

18.4.16 6:57:57 PM

製品保証書

<保証規定>

保証期間:お買い上げ日より1年間。

1) 取扱説明書や製品ラベルに記載されている注意書きに従った使用状況で、本製品が故障した場合には、無償修理をいたします。 無償修理をご依頼になる場合は、以下のものを、お買い上げの販売店までご持参、ご送付ください。もしくは、弊社ホームページのお問い合わせより

お問い合わせください。その際の諸費用は、お客様の負担となります。

- 製品
- ・必要事項を記入した本書
- ・レシート (領収書) またはそのコピー
- 2) ブラック・アンド・デッカー認定サービスセンターが保証対象の認定を行います。
- 3) 次の場合は、本保証書規定の対象外となり、有料の修理または交換となります。
 - ◆本書、お買い上げの日付を証明するレシート(領収書)またはそのコピー がない場合
 - ◆ご家庭以外(業務用としてなど)で使用した場合の故障および損傷
 - ◆オークションや、中古品など新品でご購入した以外の場合
 - ◆移動、落下、水没など製造上の問題以外による故障および損傷
 - ◆使用上の誤りや注意書きを無視した使用による故障及び損傷
 - ◆不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ◆火災・地震などの天災。騒乱などの人災、公害や異常電圧などの環境による故障および損傷
 - ◆海外など、ご利用電源が100V(50 / 60Hz)でない環境でのご使用による故障および損傷
 - ◆保証期間経過後のご依頼
 - ◆温度、湿度など適正な環境以外でのご使用による故障および損傷
 - ◆過負荷をかけ続けた場合、または不具合が発生していながら継続で使用に よる故障および損傷
 - ◆製品上に刻印されているデートコードが認識できない場合
 - ◆セット品のうち一部の製品において他の製品とデートコードが一致しない場合
 - ◆製品を貸与されてのご使用による故障および損傷
- 4) 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 6) 本規定は、以上の保証規定により修理・交換をお約束するためのもので、 これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7) 本規定は予告なく変更されることがあります。
- ※ビット、ノコ刃、サンドペーパー、掃除機フィルター、チェーン刃、ステープル、 ネイル等の消耗品は保証の対象外です。

<アフターサービスについて>

アフターサービスに関する事項は、「アフターサービスについて」をご参照ください。 保証期間経過後の修理等については、お買い上げの販売店、または当社ホームページ「お問い合わせ」内の「メールでのお問い合わせ」よりご依頼ください。

<個人情報のお取り扱いについて>

弊社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の住所、氏名、電話番号などの個人を識別、もしくは特定することのできる固有の情報(以下「個人情報」)を、本サービス提供目的のため、弊社ならびに弊社指定の宅配業者に提供します。お客様は、あらかじめこれに同意するものとします。また個人情報は、新製品情報、イベントのご案内、弊社製品サービスの品質向上のためにも利用させていただきます。

BLACK+DECKER

ブラック・アンド・デッカー 製品保証書

本書は、裏面に記載された保証規定により無償で修理・交換をお約束するものです。詳細は裏面の保証規定をご参照ください。

お客様記入欄		
フリガナ		
お名前		
TEL	()
ご住所	(〒) 都道 府県	
417	 	型番
	ノカー・ネイラー	BDCT12UB
お買	『い上げ日	販売店名
年	月 日	
販売店住所		
TEL:		

ポップリベット・ファスナー株式会社 ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22 山種池袋ビル4F TEL:03(5979)5677 FAX:03(5979)5788